

モデル：東京都中野区T様邸



伝統的な 「和」の庭

1

忙しい毎日から逃れて、一人静かに過ごしたいと思う時があります。
そんなときには伝統的な和の庭がおすすめです。

背後に竹垣を設置したり、シラカシ、モチ、ツバキなどの葉の緑の濃い常緑樹を用いて 植栽すると、心理的な安心感が生まれます。

また低木や下草は派手すぎる色や鮮やか過ぎる色の植物は避け ツツジ、アセビ、山野草類など渋い感じのモノトーンでまとめれば 更に庭に落ち着きと静寂が生まれます。

自然石は、石の根入れに注意して低く据える事で、自分が生まれるずっと以前からそこにあったような、長い歴史と重厚な雰囲気をもたらし、庭に表現する事ができます。

水鉢は、産地のしっかりした国産の御影石や、甲州産鞍馬石など 良質の石材で作られたものを選びます。
上質の水鉢は、単なる庭の飾り物にとどまることなく周囲の環境と同調しながら経年変化していきますので日を追うごとに、庭に歴史と趣が増していきます。



2



3



4

1. 心休まる「和」のデザイン
2. 庭門から続く道
- 3・4. 二種類のカエデが庭に彩りを添えている